

令和2年度 新杉田地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

杉田地区は、国道357号の海側の工業地、国道16号やJR根岸線の沿線の市街地(杉田1、4～5丁目)、丘の上に形成された住宅地(杉田坪呑、杉田2～3、6～9丁目)に区分されます。高齢者(65歳以上)の比率は27.4%、75歳以上の高齢者の比率は13.8%といずれも区の平均に近い比率となっておりますが、杉田7丁目においては高齢者(65歳以上)の比率が42.4%と高齢化が進んでいる地区も多くあります。(平成31年3月31日現在)
 地域ケア会議やスイッチON推進委員会でのグループインタビューでの意見交換により挙がってきている、一人暮らし高齢者等の地域での見守りや詐欺・消費者被害についての課題、さらに丘陵地にお住まいの方の買物に対する課題に対して地域住民をはじめ区役所や区社協、各団体等と連携し、「共に支えあい、活動がつながり、広がりのある」地域づくりに取り組んでいく必要がある。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	民生委員と協働し作成している要援護者「マップ」の更新をするとともに地域の特徴的な課題を明確化していく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域や区役所、区社協と協働にて丘陵地にある5自治会・町内会にて移動販売の実施・継続に取り組む。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区役所及び区社協と協働し第3期磯子区地域保健福祉計画の推進及び第4期計画の策定に取り組む。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	詐欺被害が増えている現状を踏まえ、地域の食事会やサロン、講座等での啓発活動に加え、磯子防犯協会の「地域安全ニュース」や磯子区社会福祉士連絡会発行「詐欺防止瓦版」等の旬な情報提供を民生委員やサービス事業所に行うことで詐欺・消費者被害防止に向けた取り組みを強化していく。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・9月民生委員担当地域の30地区に対し、訪問している独居高齢者等の情報をマップに落とし込む作業を行い、同時に地域情報についても共有化を図った。また、個別相談等新たな情報一覧を作成している。
 ・7月に発足した杉田地区社会福祉協議会買い物支援倶楽部、関係機関とで検討・調整を進め、10月より本格稼働を開始した。今後も安定した継続に向けて、関係機関と連携していく。
 ・地域福祉保健計画の策定に向け、区役所・区社協との協働のもと、地域活動アンケートの実施やワークショップの開催を通して、地域での取り組みや課題について情報を収集・共有することができた。また、エリア会議内でも、地域課題の共有の機会を持つことができた。
 ・内部事業や地域開催事業で詐欺被害防止の講話や「詐欺防止瓦版」「警察からのFAX情報」をサービス事業所や民生委員にFAX等で情報共有し、ケアプラ掲示板に張り出し地域住民への情報提供に努めた。また、3/25には包括レベル地域ケア会議し「地域で取り組む被害防止」を開催予定。

区からのコメント

買い物支援の本格稼働、地域福祉保健計画策定に向けてのワークショップの開催など、コロナ禍でありながらも工夫しながらさまざまな事業に取り組んでいただきました。地域の方の声から実際の事業に結びついたことは、さまざまな連携があったからこそだと思います。来年度には地区別計画が確定し、計画推進の時期になりますので今後も継続した取組をよろしくお願いいたします。また、民生委員と作成する「マップ」を通じて地域の課題や支援が必要な高齢者の把握に努め、支援者らと連携し個別的な支援をしていただきました。さらに、最新の消費者被害手口を一早くサービス事業所や民生委員と情報共有し、掲示板に張り出し地域住民に情報提供をして、消費者被害防止に取り組んでいました。引き続き、こうした取組を継続し、地域のニーズに即した事業展開をしていただくことを期待しています。